

平成20年度

尼崎市における石綿の健康リスク調査報告書

尼崎市

# 尼崎市における石綿の健康リスク調査報告書

## 目次

1. 目的	1
2. 内容	
(1) 調査対象者	1
(2) 調査期間	2
(3) 調査内容	
ア 保健所における1次検査	2
イ 保健所における確認	2
ウ 精密診断	2
エ 経過観察	3
オ データの解析	4
3. 結果	4
(1) 調査協力者の概要	4
(2) 調査対象者の受診状況	4
(3) 調査対象者のばく露歴や医学的所見の集計	5
4. 考察	6
5. 今後の予定	7
6. 参考資料	
7. 参考	

## 1. 目的

平成17年6月29日、尼崎市にあった石綿取扱企業の従業員数十名のみならず、かつてその周辺地域に居住していた住人にも中皮腫の発病者のいることが公表され、石綿による一般環境ばく露の可能性が示唆された。

この報道により、中皮腫による死亡例などの多くの情報が市民や元市民から市役所に寄せられ、さらにその可能性が強く疑われることとなった。

本市は、同年8月より、一般環境を経由した石綿ばく露の可能性があったと思われる昭和30年～50年当時の住民に対して「アスベストに係る健康診断事業」

(以下、アスベスト健診という)として、問診及び胸部X線検査を実施し、有所見者には紹介状を発行して専門医療機関への受診を勧奨しているところである。

その後、平成18年2月に、厚生労働省の「石綿に関する健康管理等専門家会議」の報告書がまとめられた。その中の「石綿ばく露に関する健康管理の考え方と手法」で“胸部X線検査で所見が認められない場合でも、初回は胸部CT検査を実施して石綿関連所見の有無を確認しておく方が良い”という報告がなされている。また、その後に同会議より「石綿ばく露把握のための手引」も公表されている。

これを受けて平成18年度より、本市アスベスト健診受診者の中で同意が得られた方について、胸部X線検査に加えて初回時に、より詳細な問診と胸部CT検査を実施することにより、石綿ばく露と極めて関連が深いといわれる医学的所見である胸膜プラークや石綿肺等の所見の有無や健康影響との関係に関する知見を収集した。このような手法で石綿のばく露歴や、石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うとともに、周辺住民への健康管理に資することを目的として、平成20年度も引き続き本調査を実施した。

## 2. 内容

### (1) 調査対象者

尼崎市保健所(以下、「保健所」という)では昭和30年～50年に尼崎市に居住し、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性のある者を市広報や戸別にお知らせを配布する等により募集し、アスベスト健診を実施している。この受診者のうち、今回の調査に同意をいただいた方を調査対象者とした。なお、上記

以外の者についても石綿ばく露の可能性があり、調査の同意が得られた場合は調査協力者として本調査に加えた。

## (2) 調査期間

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

## (3) 調査内容

### ア 保健所における1次検査（＝尼崎市事業のアスベスト健診）

保健所において、アスベスト健診受診者に対し、保健師により問診票（資料1）を用いた問診を実施した。問診の結果、石綿ばく露の可能性が認められた者に対してはアスベスト健診受診者台帳に登録し、胸部X線検査を実施した。胸部X線写真の所見は2名の専門医によって別々に確認（＝二重読影）した。このアスベスト健診の結果は速やかに受診者に通知した。

### イ 保健所における確認

アの検査の実施後、保健所において本調査事業の説明を行い、調査の同意が得られた者には、石綿診断記録帳（資料3）を発行して調査登録台帳に登録を行った。また、胸部CT検査などを実施するにあたっては、保健所が指定する医療機関（関西労災病院、県立尼崎病院、県立塚口病院、兵庫医科大学病院。以下、「指定医療機関」（資料6）という。）へ、所見のない者は健康診断、所見の見られるものは診療として紹介状（資料4）及び受診券（資料5）を発行した。なお、既に他医療機関で胸部CT検査をはじめとした精密検査を受けている場合には、不要な放射線ばく露を防ぐため、本人の承諾を得て、その検査実施医療機関より胸部CTフィルムなどの検査結果やデータの提供を受けた。

### ウ 精密診断

調査協力者は、保健所が発行した紹介状及び受診券を指定医療機関に提出し、受診した。ここでは、診察のうえ胸部X線検査（毎年1回実施。ただし、初回時は保健所の1次検査で実施するため、原則省略するが、医師が追加の胸部X線検査（側面撮影等）を必要と判断した場合のみ実施）及び胸部CT検査

(原則数年に1回。既に他の医療機関で受診した場合はその検査結果を活用し、初回時は省略)、必要に応じて造影CT検査や腫瘍マーカー検査を追加実施し、その結果を本人に伝えた。その読影所見(資料2)については保健所に送られ、データとして登録した。必要に応じて病理組織検査や石綿小体の測定を追加検査し、これら検査結果も本人に伝えられ、同様に登録した。

その後、尼崎市アスベスト対策専門委員会読影部会(資料8)において、胸部CT検査の2次読影を行い、その際に軽微なものも所見と判断するよう努めながらA表の注1~3のとおり分類し、その後の調査追跡は以下のように振り分けることとした。

#### 【医学的所見による振り分けの考え方】

- ① 石綿健康被害救済法の対象疾病となった者は、その時点で調査終了とする。
- ② 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、治療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ③ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、治療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。
- ④ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、治療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ⑤ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、他の疾病の所見がみられ、治療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。

なお、上記①、③及び⑤の対象者については、治療経過等の把握に努めた。

#### エ 経過観察

前記【医学的所見の振り分けの考え方】で②と判断された者は、保健所から、受診券の発行を受け、年1回指定医療機関において精密診断(胸部X線検査、必要に応じ胸部CT検査、病理組織検査等)を受診する予定である。なお、精密診断の内容及び必要性の可否は、前回の所見等を総合的に勘案して判断するものとする。

同様に④と判断された者は、年1回保健所において本事業実施分として追加問診、胸部X線検査を受診し、その結果、要精密検査と判断された場合は、保健

所の指導の下、受診券の発行を受け、指定医療機関において精密診断（胸部X線検査、必要に応じ胸部CT検査、病理組織検査等）を受診する予定とする。

なお、精密診断の内容及び必要性の可否は、過去の胸部X線検査などを総合的に勘案して判断するものとする。

#### オ データの解析

上記ア～エの一連の作業について、尼崎市アスベスト対策専門委員会（資料7）において、医学的な観点からの分析や検討を行った。

### 3. 結果

#### (1) 調査協力者の概要

調査協力者のうち、問診・胸部X線検査、胸部CT検査まで受診・資料提供を完了した者は387名であった。

このうち、調査対象者の概要は以下のとおりであった。

- ① 昭和30～50年に尼崎市に居住していた者（調査対象者）379名
- ② 上記以外の者 8名
- ③ ①のうち、現在も市内に居住している者 314名
- ④ ①のうち、平成17年度の市のアスベスト健診受診者 122名

#### (2) 調査対象者の受診状況

調査対象者の受診状況等は表1、表2-1、表2-2 のとおりであった。

調査対象者379名の内訳は、男性209名、女性170名で、年齢は60～70歳代が273名で全体の72%を、中でも60歳代が153名で全体の40%を占めていた。

前年度に比べて男女比はほぼ同率であったが、徐々に女性の割合が増加しており、30～50歳代の働き盛りの参加率は若干減少した。平成18ないし/および19年度に受診し、経過観察となった人304名中、182名が受診していた。

表1 指定医療機関別受診者数

表2-1 年齢階層別受診者数

表 2-2 検査項目別受診者数

(3) 調査対象者のばく露歴や医学的所見の集計

調査協力者のばく露歴や医学的所見について、A～C表に各項目について整理・集計し、D図でばく露歴分類が「オ」（職業等のばく露歴が確認できない）の者の昭和30～50年の居住歴を居住期間に応じて大きさを変えてプロットした。A表の症例番号はリスク調査協力者、固有のものとした。すなわち、前年度に引き続いて協力された方は同一の番号となっている。

石綿関連の職歴や石綿取扱施設への立ち入りによるばく露といったばく露歴が確認できない者は177名（47%）であり、そのうち男性は56名（男性中の27%）女性121名（女性中の71%）であった。前年度と比べて、ばく露歴が確認できない者の割合は変わらなかった。

ばく露歴が確認できない者177名のうち、58名（33%）に疑い例を含んだ何らかの石綿関連の画像所見が見られ、胸膜プラークの所見がある者は43名（石綿関連所見ありの74%）であった。また、そのうち女性は23名（胸膜プラーク所見ありの52%）だった。

なお、調査対象者379名のうちでは、139名（37%）に疑い例を含んだ何らかの石綿関連の画像所見が見られ、そのうち103名（石綿関連所見ありの74%）が胸膜プラークであった。

A表	調査協力者の一覧表
B表	昭和30～50年に尼崎市に居住していた者のばく露歴集計表
B-2表	昭和30～50年に尼崎市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表
C-1表	昭和30～50年に尼崎市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表
C-2表	胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表
C-3表	調査対象者の状況
D図	ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図

またばく露歴が確認できない者のうち、胸部CT検査で肺野間質影などの所見を認めた16例について石綿肺の観点から検討を加えた。問診による職業歴や病歴などを加味した上で胸部X線所見を再検討したが、じん肺区分でPRI以上の所見を認めた例はなかった。

#### 4. 考察

今回の調査でも平成18年度から引き続き、一般環境を経由した石綿ばく露の可能性について検討するために、胸部CT検査などの検査のみならず、問診で詳細な職業歴と居住歴などを聞き取った。その上で集計し、明らかに職業や家族などからのばく露が認められない方々を中心に検討を実施した。

検討にあたっては、石綿ばく露との関連が明らかであり、しかも低濃度ばく露でも所見を認めることが知られている胸膜プラークに着目した。なお、胸膜プラークそのものは症状を呈さないといわれている。石綿肺は一般的に高濃度ばく露で発症するといわれるが、低濃度ばく露での発症を否定する報告はないため検討した。なお、石綿肺は特発性間質性肺炎、膠原病肺などとの鑑別が必要なため、病歴や職歴などの問診が判断に重要であるといわれる点に留意しておく必要がある。また、その他の石綿関連所見である良性石綿胸水やびまん性胸膜肥厚などは、様々な要因を除外する必要があり、石綿との因果関係を明確にすることは困難である。

今回の調査では、ばく露歴が確認できない者の33%（58名）に疑い例を含んだ何らかの石綿関連所見があり、その74%（43名）に石綿ばく露で発生する胸膜プラークが認められている。さらにその53%が女性だった。仕事上、アスベストを扱う機会が多いのは男性で、女性にはその様な職業上の機会が少ないといわれている。今までの調査と同様、今回も問診でばく露歴が確認できなかったプラーク保有者の過半数が女性であったことから、一般環境ばく露を経由した石綿ばく露の可能性が十分に考えられる。今後も一般環境ばく露の可能性については女性の所見に注意していく必要がある。

ばく露歴が確認できない者全体の傾向として、特定の地域に偏る傾向があったが、その原因としては、特定の石綿取扱企業に関する報道が行われたことや、居住年数の長い市民には概ね石綿取扱企業の所在地に関する知識が以前からあったこと



などが考えられる。地域によって偏りが無いか、今後も注意して追跡していく必要がある。

ばく露歴が確認できない者のうち、胸膜下曲線様陰影が9名に、肺野間質影が8名（1名が重複）に認められた。胸膜下曲線様陰影と胸膜プラーク所見を併せ持つものは9名中4名であったが、肺野間質影と胸膜プラークを併せ持つ者は8名中2名であった。昨年度とは異なり、肺野間質影と胸膜プラークを併せ持つ傾向が少なかった。ただし、今後もデータを集積することにより、新たな知見につなげて行けるよう注意していく必要はある。

なお、本年度は肺がん症例1例あったが、明らかな職業歴を認めたため石綿小体の測定は現在のところ実施していない。今後も当調査で治療を受けた方には医療機関との連携・追跡の配慮を行う予定である。

## 5. 今後の予定

次年度も戸別にアスベスト健診の案内を配布（7.（2）で後述）し、定期的に市広報にてアスベスト健診の広報を行いながら、新規の調査対象者の募集を行うとともに、前年度受診した者については経過観察を進め、データの更なる蓄積を図っていく予定である。

## 6. 参考資料

- ・ 問診票（資料1）
- ・ CT所見用紙（資料2）
- ・ 石綿診断記録帳（資料3）
- ・ 指定医療機関への紹介状（資料4）
- ・ 受診券（資料5）
- ・ 指定医療機関名簿（資料6）
- ・ 尼崎市アスベスト対策専門委員会名簿（資料7）
- ・ 尼崎市アスベスト対策専門委員会読影分会名簿（資料8）

## 7. 参考

- （1）石綿健康管理手帳の交付要件改正に伴う情報提供

平成19年10月から石綿健康管理手帳の交付要件が改正され、これまでは対象とならなかった方々も対象となる可能性が出たため、平成19年度の本調査において問診上、直接石綿を取り扱っていた職歴のある方に対しては改正の案内を郵送した。本年度の調査で問診上、直接石綿を取り扱っていた職歴のある方にも情報提供を行う予定である。また、平成21年4月から石綿健康管理手帳の交付要件が再度改正され、これまでは対象とならなかった方々も対象となる可能性が出るため、平成18、19、20年度の本調査において問診上、間接的に石綿を取り扱っていた職歴のある方にも情報提供を行う予定である。

(2) アスベスト健診の戸別広報について

平成17年度のアスベスト健診開始当初より、少なくとも2ヶ月に一回は市広報にてアスベスト健診の広報に努めているところであるが、さらなる周知を図るために平成20年2月より順次戸別にアスベスト健診の案内を配布し、本調査の協力者を募っている。

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
兵庫県立尼崎病院	130	34.3%	73	34.9%	57	33.5%
兵庫医科大学病院	39	10.3%	21	10.1%	18	10.6%
関西労災病院	54	14.2%	27	12.9%	27	15.9%
尼崎市保健所	156	41.2%	88	42.1%	68	40.0%
合計	379	100%	209	100.0%	170	100.0%

表2-1 年齢階層別受診者数

年齢区分	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
30～39歳	7	1.8%	4	1.9%	3	1.8%
40～49歳	18	4.7%	10	4.8%	8	4.7%
50～59歳	59	15.6%	29	13.9%	30	17.6%
60～69歳	153	40.4%	89	42.6%	64	37.6%
70～79歳	120	31.7%	66	31.6%	54	31.8%
80～89歳	22	5.8%	11	5.2%	11	6.5%
90～99歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	379	100%	209	100.0%	170	100.0%

※平成21年2月28日現在

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診＋胸部X線＋胸部CT	208	54.9%
問診＋胸部X線のみ	156	41.2%
問診＋胸部CTのみ	15	3.9%
問診のみ	0	0.0%
合計	379	100.0%

※平成21年2月28日現在

ばく露歴と医学的所見に係る集計表（尼崎市）  
 A表：2008年受診者（S30からS50年居住）

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年CT	最新の所見	7. 直接職歴 あり	8. 間接職歴 あり	9. 家族職歴 あり	10. 立ち入り あり	11. その他	ばく露歴分 類案	経過観察：終 了	備考
1	700	男	1940					なし	●	●			●	ア		
2	417	男	1930		②	不変		②	●	●				ア	終了 手帳取得	
3	427	男	1940		なし	不変		なし	●	●				ア		
4	536	男	1940					②・⑤	●	●				ア		
5	568	男	1920					②・⑩	●	●				ア		
6	146	女	1930	なし	なし	不変		なし	●		●		●	ア		
7	523	女	1930		②	不変		②	●		●		●	ア		
8	537	男	1970					なし	●		●		●	ア		
9	830	女	1920					なし	●		●		●	ア		
10	36	男	1940	なし	なし	不変		なし	●		●			ア		
11	431	男	1960		⑥		○	⑩	●			●	●	ア		
12	815	男	1940					なし	●			●	●	ア		
13	859	男	1940					②・③・ ⑦	●			●	●	ア		
14	753	男	1940					なし	●			●	●	ア		
15	659	男	1940					⑩	●			●		ア		
16	280	男	1940		②・⑥	不変	○	②	●				●	ア		
17	387	男	1940		②	新所見	○	⑩	●				●	ア		
18	39	男	1940	②?	②	新所見	○	⑩	●				●	ア		
19	303	男	1940		⑩	不変		⑩	●				●	ア		
20	115	男	1940	なし	なし	不変		なし	●				●	ア		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	ア 直接聴取 あり	イ 間接聴取 あり	ウ 家族聴取 あり	エ 立ち入り あり	オ その他	備考 （経過観察・終了）	備考
21	459	男	1930		②	不変		②	●				●	ア	
22	377	男	1940		なし	不変		なし	●				●	ア	
23	99	男	1930	⑩	⑩	不変		⑩	●				●	ア	
24	192	男	1940	②, ⑨	②・⑨	不変		②・⑨	●				●	ア	
25	106	男	1930	②, ⑩		不変		②・⑩	●				●	ア	
26	97	男	1920	⑩	⑩	不変		⑩	●				●	ア	
27	481	男	1930		②	不変		②	●				●	ア	
28	28	男	1930	②	②	不変		②	●				●	ア	
29	159	男	1950	⑩	⑩	不変		⑩	●				●	ア	
30	395	男	1940		なし	不変		なし	●				●	ア	
31	277	男	1930		なし	不変		なし	●				●	ア	
32	29	男	1940	なし	なし	不変		なし	●				●	ア	
33	278	男	1930		なし	不変		なし	●				●	ア	
34	48	男	1940	なし		不変		なし	●				●	ア	
35	391	男	1940		⑥	不変		⑥	●				●	ア	
36	477	男	1970					②	●				●	ア	
37	506	男	1920					⑩	●				●	ア	
38	586	男	1930					②	●				●	ア	
39	589	男	1930					②・⑩	●				●	ア	
40	612	男	1930					⑨	●				●	ア	
41	614	男	1960					なし	●				●	ア	

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の見	ア 直接腫歴 あり	イ 間接腫歴 あり	ウ 家族腫歴 あり	エ 立も入り あり	オ その他	バク菌歴分 類本	経過観察 終 了	備考
42	638	男	1930					⑤・⑥	●				●	ア		
43	737	男	1940					②	●				●	ア		
44	449	男	1950					なし	●				●	ア		
45	591	男	1950					②	●				●	ア		
46	752	男	1950					なし	●				●	ア		
47	765	男	1930					⑧	●				●	ア		採血
48	802	男	1930					⑩	●				●	ア		
49	232	男	1940					⑩	●				●	ア		
50	755	男	1940					⑩	●				●	ア		造影
51	857	男	1940					なし	●				●	ア		
52	739	男	1940					なし	●				●	ア		
53	212	男	1920		②		○	②・⑩	●					ア	終了 手帳取得	
54	295	男	1920		②・⑧・ ⑨・⑩		○	②・⑤・ ⑨・⑩	●					ア		
55	460	男	1930		⑤	新所見	○	⑩	●					ア		
56	31	男	1920	なし	②・⑨・ ⑩		○	⑨	●					ア		
57	354	男	1940		なし	不変		なし	●					ア		
58	293	男	1940		⑩	不変		⑩	●					ア		
59	419	男	1940		なし	不変		なし	●					ア		
60	466	男	1930		なし	不変		なし	●					ア		
61	69	男	1930	なし	なし	不変		なし	●					ア		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	ア 直接職歴 あり	イ 間接職歴 あり	ウ 家族職歴 あり	エ 立ち入り あり	オ その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
62	1	男	1940	②?		不変		②	●					ア		
63	420	男	1950		なし	不変		なし	●					ア		
64	43	男	1930	②	②	不変		②	●					ア		
65	183	男	1960	なし	なし	不変		なし	●					ア		
66	155	男	1930		②	不変		②	●					ア		
67	492	男	1940		なし	不変		なし	●					ア		
68	198	男	1930		⑩	不変		⑩	●					ア		
69	310	男	1930		②・ ③・⑩	不変		②・③・ ⑩	●					ア		
70	778	男	1940					なし	●					ア		
71	532	男	1940					⑩	●					ア		
72	552	男	1930					②・⑥・ ⑧・⑨・ ⑩	●					ア		
73	599	男	1940					⑥・⑨	●					ア		
74	715	男	1940					⑧	●					ア		
75	683	男	1930					②・⑨	●					ア		
76	692	女	1930					⑩	●					ア		
77	774	男	1940					②・⑥	●					ア		
78	866	女	1940					②	●					ア		
79	698	男	1940					②・⑧	●					ア		採血
80	776	男	1930					②	●					ア		
81	510	男	1930		⑩	不変		⑩	●					ア		
82	191	男	1940	⑩		不変		⑩	●	●	●	●		イ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年CT	最新の見	7.直接接歴 あり	8.間接接歴 あり	9.家族接歴 あり	10.立ち入り あり	11.その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
83	94	女	1940	なし	なし	不変		なし		●	●			イ		
84	86	女	1940	なし	なし	不変		なし		●	●			イ		
85	646	男	1950					なし		●		●	●	イ		
86	458	男	1930					⑩		●		●	●	イ		
87	286	男	1940					⑩		●		●	●	イ		
88	809	男	1930					⑩		●		●	●	イ		
89	473	男	1920		②・⑧	新所見	○	②・⑧・ ⑩		●			●	イ	終了肺がん	医療の必要 あり
90	434	男	1940		⑩		○	②		●			●	イ		
91	351	男	1930		①・⑦		○	②・⑦		●			●	イ		
92	64	男	1930	なし	なし	不変		なし		●			●	イ		
93	319	女	1940		②	不変		②		●			●	イ		
94	438	男	1930		なし	不変		なし		●			●	イ		
95	153	女	1930	⑩		不変		⑩		●			●	イ		
96	85	男	1940	⑩	⑩	不変		⑩		●			●	イ		
97	122	女	1930	⑩		不変		⑩		●			●	イ		
98	51	男	1930	⑩	⑩	不変		⑩		●			●	イ		
99	55	男	1940	②	②	不変		②		●			●	イ		
100	373	男	1930		⑩	不変		⑩		●			●	イ		
101	116	男	1940	⑥	⑥	不変		⑥		●			●	イ		
102	156	女	1940	なし	なし	不変		なし		●			●	イ		
103	279	男	1930		②	不変		②		●			●	イ		



通し番号	症例番号	性別	生年代 (四層)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年C.T	最新の所見	7.直接腫瘍 あり	8.間接腫瘍 あり	9.家族腫瘍 あり	10.立ち入り あり	11.その他	12.露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
104	328	男	1940		なし	不変		なし	●				●	イ		
105	252	男	1950		②	不変		②	●				●	イ		
106	264	男	1940		なし	不変		なし	●				●	イ		
107	226	男	1950	②, ③, ⑤	②, ③, ⑤	不変		②・③・ ⑤	●				●	イ		びまん性胸 膜肥厚
108	137	男	1940	②	②	不変		②	●				●	イ		
109	216	男	1930	②	②	不変		②	●				●	イ		
110	526	男	1940		⑩	不変		⑩	●				●	イ		
111	312	男	1930		②・⑩	不変		②・⑩	●				●	イ		
112	548	男	1930					②・⑩	●				●	イ		
113	291	男	1920					⑧・⑨・ ⑩	●				●	イ		
114	538	男	1940					なし	●				●	イ		
115	543	男	1940					なし	●				●	イ		
116	544	女	1940					②	●				●	イ		
117	546	男	1940					なし	●				●	イ		
118	550	男	1930					②・⑨	●				●	イ		
119	588	男	1930					⑧	●				●	イ		
120	580	男	1940					⑩	●				●	イ		
121	598	女	1930					⑩	●				●	イ		
122	636	男	1930					なし	●				●	イ		
123	605	男	1930					②・⑩	●				●	イ		
124	631	女	1930					なし	●				●	イ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	7. 直接経歴 あり	8. 間接経歴 あり	9. 家族経歴 あり	10. 立ち入り あり	11. その他	12. ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
125	647	女	1930					なし		●			●	イ		
126	648	男	1930					なし		●			●	イ		
127	649	男	1940					なし		●			●	イ		
128	653	男	1940					なし		●			●	イ		
129	678	男	1940					⑩		●			●	イ		
130	689	女	1930					②		●			●	イ		
131	725	男	1940					⑥		●			●	イ		
132	407	男	1940					なし		●			●	イ		
133	775	女	1940					なし		●			●	イ		
134	818	女	1920					②		●			●	イ		
135	751	男	1930					⑧・⑨・ ⑩		●			●	イ		
136	819	男	1930					なし		●			●	イ		
137	800	男	1930					②・⑩		●			●	イ		
138	343	男	1940		②	不変		②		●				イ		
139	421	女	1950		なし	不変		なし		●				イ		
140	101	男	1930	⑩	⑩	不変		⑩		●				イ		
141	493	男	1930		⑥・⑨	増悪	○	⑤・⑥・ ⑨・⑩		●				イ		
142	359	男	1940		⑤	不変		⑤		●				イ		
143	396	男	1930		⑩	不変		⑩		●				イ		
144	556	男	1940					⑩		●				イ		
145	676	男	1930					なし		●				イ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 又検所見	2008年CT	最新の見解	J. 直接聴取 あり	K. 間接聴取 あり	L. 家族聴取 あり	M. 立ち入り あり	N. その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
146	652	男	1940					⑧		●				イ		
147	672	男	1930					なし		●				イ		
148	266	男	1940					⑧・⑩		●				イ		
149	821	男	1920					①・②・ ⑦		●				イ		
150	704	男	1940					⑩		●				イ		
151	833	女	1920					⑩		●				イ		
152	558	男	1940					②・⑤		●				イ		
153	513	女	1950					なし		●				イ		
154	72	女	1940	⑩		不変		⑩			●		●	ウ		
155	57	女	1950	⑩	⑩	不変		⑩			●		●	ウ		
156	118	女	190	②		不変		②			●		●	ウ		
157	447	男	1950		なし	不変		なし			●		●	ウ		
158	135	女	1920	⑧, ⑩		不変		⑧・⑩			●		●	ウ		
159	113	女	1940	なし	なし		○	⑧			●		●	ウ		
160	485	女	1940		⑩	不変		⑩			●		●	ウ		
161	524	女	1950		②	不変		②			●		●	ウ		
162	541	女	1930					⑩			●		●	ウ		
163	571	女	1930					②・⑩			●		●	ウ		
164	585	女	1940					⑩			●		●	ウ		
165	634	女	1930					⑩			●		●	ウ		
166	663	女	1940					⑧			●		●	ウ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年〇丁	最新の所見	7. 直接聴歴 あり	4. 間接聴歴 あり	6. 家族聴歴 あり	5. 立ち入り あり	1. その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
167	763	女	1930					なし			●		●	ウ		
168	811	女	1930					⑩			●		●	ウ		
169	745	女	1930					②・③・ ⑩			●		●	ウ		
170	705	男	1940					⑩			●		●	ウ		
171	145	女	1930	なし	なし	新所見	○	⑩			●			ウ		
172	361	女	1940		なし	不変		なし			●			ウ		
173	2	女	1930	なし		不変		なし			●			ウ		
174	511	女	1940		なし	不変		なし			●			ウ		
175	207	女	1940					⑩			●			ウ		
176	669	女	1940					⑩			●			ウ		
177	413	女	1950		なし		○	⑩				●	●	エ		
178	424	女	1950		②		○	②				●	●	エ		
179	243	男	1950		なし	不変		なし				●	●	エ		
180	425	男	1940		なし	不変		なし				●	●	エ		
181	120	女	1950	なし	なし	不変		なし				●	●	エ		
182	486	男	1950		②	不変		②				●	●	エ		
183	75	男	1940	なし	⑩	不変		⑩				●	●	エ		
184	174	男	1960		②	不変		②				●	●	エ		
185	228	男	1940		なし	不変		なし				●	●	エ		
186	76	男	1950	②	②	不変		②				●	●	エ		
187	353	女	1950					②・⑩				●	●	エ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 又線所見	2008年CT	最新の所見	ア.直接腫歴 あり	イ.間接腫歴 あり	ウ.家族腫歴 あり	エ.立ち入り あり	オ.その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
188	247	女	1970					なし				●	●	エ		
189	534	女	1930					⑩				●	●	エ		
190	581	男	1930					なし				●	●	エ		
191	582	女	1940					なし				●	●	エ		
192	632	男	1950					②				●	●	エ		
193	699	男	1960					なし				●	●	エ		
194	315	男	1950					なし				●	●	エ		
195	642	男	1970					⑩				●	●	エ		
196	822	男	1940					⑩				●	●	エ		
197	835	男	1930					⑥				●	●	エ		
198	814	男	1940					⑥				●	●	エ		
199	783	男	1940					なし				●	●	エ		
200	535	男	1930					⑩				●		エ		
201	746	男	1940					⑩				●		エ		
202	221	男	1930		②	精検 不変		②				●		エ		
203	801	女	1930					⑩					●	オ		
204	119	男	1940	⑩	⑩	不変	○	⑩					●	オ		
205	307	男	1950		②		○	②					●	オ		採血
206	450	男	1930		②		○	②					●	オ		
207	149	女	1930	②	②		○	②					●	オ		採血
208	73	女	1940	②	②		○	②					●	オ		採血

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	ア.直接腫瘍 あり	イ.間接腫瘍 あり	ウ.家族腫瘍 あり	エ.立ち入り あり	オ.その他	ばく露区分 類案	経過観察・終 了	備考
209	348	女	1930		⑩		○	②・⑩					●	オ		
210	34	女	1940	②	②・ ③・⑩		○	②					●	オ		
211	331	男	1930		⑩		○	⑩					●	オ		
212	169	女	1940	②		不変	○	⑩					●	オ		
213	300	女	1940		⑩	不変		⑩					●	オ		
214	308	女	1930		⑤	不変		⑤					●	オ		
215	337	女	1930		⑤	不変		⑤					●	オ		
216	338	女	1930		②	不変		②					●	オ		
217	363	女	1950		なし	不変		なし					●	オ		
218	355	男	1940		②	不変		②					●	オ		
219	389	女	1960		なし	不変		なし					●	オ		
220	409	女	1960		なし	不変		なし					●	オ		
221	381	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
222	127	女	1940		②	不変		②					●	オ		
223	124	女	1940	⑩		不変		⑩					●	オ		
224	134	女	1940	②		不変		②					●	オ		
225	365	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
226	362	男	1950		②	不変		②					●	オ		
227	309	男	1920		②・ ⑤・⑥	不変		②・⑤・ ⑥					●	オ		
228	15	女	1950	なし	なし	不変		なし					●	オ		
229	267	女	1930		なし	不変		なし					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×級所見	2008年CT	最新の所見	7. 直接聴歴 あり	7. 間接聴歴 あり	9. 家族聴歴 あり	4. 立ち入り あり	5. その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
230	84	女	1940	⑩	⑩	不変		⑩					●	オ		
231	422	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
232	414	女	1950		なし	不変		なし					●	オ		
233	92	男	1940	なし	なし	不変		なし					●	オ		
234	461	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
235	47	女	1930	⑩		不変		⑩					●	オ		
236	26	男	1930		⑩	不変		⑩					●	オ		
237	340	男	1930		なし	不変		なし					●	オ		
238	445	女	1940		⑩	不変		⑩					●	オ		
239	468	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
240	65	女	1960		なし	不変		なし					●	オ		
241	254	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
242	255	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
243	102	男	1950	なし		不変		なし					●	オ		
244	270	男	1960		⑩	不変		⑩					●	オ		
245	452	女	1920		⑩	不変		⑩					●	オ		
246	482	女	1930		なし	不変		なし					●	オ		
247	129	女	1950	⑩	⑩	不変		⑩					●	オ		
248	131	女	1950	⑩	⑩	不変		⑩					●	オ		
249	374	女	1930		②	不変		②					●	オ		
250	103	男	1950	なし	なし	不変		なし					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 × 続所見	2008年CT	最新の所見	直接職歴 あり	間接職歴 あり	家族職歴 あり	立ち入り あり	その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
251	168	女	1940	なし	なし	不変		なし					●	オ		
252	415	男	1930		②	不変		②					●	オ		
253	182	女	1960	なし	なし	不変		なし					●	オ		
254	491	女	1930		②・ ⑤・⑩	不変		②・⑤・ ⑩					●	オ		
255	139	女	1950	なし	なし	不変		なし					●	オ		
256	329	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
257	489	男	1930		⑩	不変		⑩					●	オ		
258	117	女	1960	なし		不変		なし					●	オ		
259	368	男	1950		⑩	不変		⑩					●	オ		
260	188	男	1950		②	不変		②					●	オ		
261	269	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
262	462	男	1930		②・⑤	不変		②・⑤					●	オ		
263	388	女	1930		②	不変		②					●	オ		
264	325	女	1960		なし	不変		なし					●	オ		
265	327	女	1960		なし	不変		なし					●	オ		
266	326	女	1930		なし	不変		なし					●	オ		
267	220	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
268	339	女	1940		②・⑨	不変		②・⑨					●	オ		
269	213	女	1930		なし	不変		なし					●	オ		
270	95	女	1930	⑤	⑤	不変		⑤					●	オ		
271	471	女	1940		⑩	不変		⑩					●	オ		



通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	ア. 直接聴歴 あり	イ. 間接聴歴 あり	ウ. 家族聴歴 あり	エ. 立ち入り あり	オ. その他	備考 （症歴分 類表）	経過観察-終 了	備考
272	30	女	1940	⑧	⑧	不変		⑧					●	オ		
273	275	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
274	202	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
275	323	男	1930		②・⑩	不変		②・⑩					●	オ		
276	136	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
277	111	女	1930	②	②	不変		②					●	オ		
278	364	男	1940		②	不変		②					●	オ		
279	531	男	1930		⑩	不変	○	②・⑤					●	オ		
280	500	女	1920		②	不変		②					●	オ		
281	141	女	1930		②	不変		②					●	オ		
282	527	女	1940		なし	不変		なし					●	オ		
283	507	女	1950		なし	不変		なし					●	オ		
284	508	男	1950		なし	不変		なし					●	オ		
285	13	男	1920	②, ⑥, ⑨, ⑩	②, ⑥, ⑨, ⑩	不変		②・⑤・⑨・⑩					●	オ		
286	96	男	1920	なし	なし	不変		なし					●	オ		
287	529	女	1930					⑩					●	オ		
288	533	男	1940					⑩					●	オ		
289	547	女	1950					⑩					●	オ		
290	316	女	1950					なし					●	オ		
291	557	女	1920					⑩					●	オ		
292	559	女	1940					なし					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	7. 直接職歴 あり	8. 間接職歴 あり	9. 家族職歴 あり	10. 立ち入り あり	その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
293	503	女	1920					⑩					●	オ		
294	554	女	1930					⑩					●	オ		
295	562	女	1940					なし					●	オ		
296	564	女	1920					②					●	オ		
297	565	男	1960					なし					●	オ		
298	593	女	1930					⑩					●	オ		
299	274	男	1950					なし					●	オ		
300	576	女	1930					⑨					●	オ		
301	583	女	1940					なし					●	オ		
302	592	女	1930					⑩					●	オ		
303	603	男	1930					②・⑩					●	オ		
304	620	男	1950					⑩					●	オ		
305	584	女	1930					⑩					●	オ		
306	590	男	1950					⑩					●	オ		
307	608	女	1930					②					●	オ		
308	609	男	1930					⑥・⑩					●	オ		
309	615	男	1930					⑩					●	オ		
310	249	女	1940					⑩					●	オ		
311	640	女	1940					⑩					●	オ		
312	637	女	1930					⑩					●	オ		
313	651	男	1940					②					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	7.直接鑑別 あり	8.間接鑑別 あり	9.家族鑑別 あり	10.立ち入り あり	11.その他	はく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
314	662	女	1930					⑤					●	オ		採血
315	664	男	1940					②・⑩					●	オ		
316	702	女	1970					なし					●	オ		
317	621	男	1970					なし					●	オ		
318	643	女	1920					⑩					●	オ		
319	654	女	1930					なし					●	オ		
320	656	男	1930					②					●	オ		
321	655	男	1940					⑥・⑧					●	オ		
322	682	男	1950					なし					●	オ		
323	697	女	1930					⑤・⑩					●	オ		
324	719	女	1940					⑩					●	オ		
325	727	男	1940					⑩					●	オ		
326	735	女	1950					なし					●	オ		
327	665	女	1950					なし					●	オ		
328	673	女	1940					②					●	オ		
329	706	女	1930					なし					●	オ		
330	720	男	1940					なし					●	オ		
331	726	女	1930					⑤・⑩					●	オ		
332	731	女	1930					②					●	オ		
333	732	男	1940					②					●	オ		
334	734	男	1940					②・⑧					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新所見	7. 直接経歴 あり	8. 間接経歴 あり	9. 家族経歴 あり	1. 立ち入り あり	2. その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
335	736	男	1940					⑩					●	オ		
336	748	女	1940					⑤・⑨・ ⑩					●	オ		
337	572	女	1930					なし					●	オ		
338	626	女	1930					なし					●	オ		
339	733	男	1930					⑥・⑩					●	オ		
340	742	女	1940					②					●	オ		
341	757	男	1940					⑩					●	オ		
342	758	女	1940					⑩					●	オ		
343	760	女	1940					⑩					●	オ		
344	761	女	1930					なし					●	オ		
345	750	女	1940					⑩					●	オ		
346	771	女	1940					⑩					●	オ		
347	167	男	1920					②・⑩					●	オ		
348	432	女	1940					なし					●	オ		
349	227	女	1940					⑤					●	オ		
350	764	女	1940					⑩					●	オ		
351	766	女	1930					⑨・⑩					●	オ		
352	779	女	1930					⑩					●	オ		
353	781	女	1950					なし					●	オ		
354	784	女	1930					②					●	オ		
355	788	女	1940					⑩					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新 の所見	7. 直接 脚歴 あり	4. 間接 脚歴 あり	9. 家族 脚歴 あり	5. 立ち 入り あり	3. その他	ばく 露 分 類 案	経過 観察 ・ 終 了	備考
356	790	女	1940					②					●	オ		
357	804	女	1940					なし					●	オ		
358	820	女	1930					⑩					●	オ		
359	285	女	1950					なし					●	オ		
360	404	女	1950					⑩					●	オ		
361	797	女	1930					②					●	オ		
362	798	男	1930					なし					●	オ		
363	799	女	1930					なし					●	オ		
364	817	女	1930					なし					●	オ		
365	829	女	1940					⑩					●	オ		
366	803	男	1950					なし					●	オ		
367	805	女	1940					なし					●	オ		
368	806	女	1950					②・⑩					●	オ		
369	728	女	1920					⑧・⑩					●	オ		採血
370	729	女	1940					なし					●	オ		採血
371	730	女	1950					なし					●	オ		
372	845	女	1940					なし					●	オ		
373	850	女	1940					⑩					●	オ		
374	519	女	1920					⑩					●	オ		
375	832	女	1940					⑩					●	オ		
376	837	男	1940					なし					●	オ		

通し番号	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度 ×線所見	2008年CT	最新の所見	7. 直接経歴 あり	8. 間接経歴 あり	9. 家族経歴 あり	10. 立ち入り あり	11. その他	ばく露歴分 類案	経過観察・終 了	備考
377	848	男	1930					②・⑤・ ⑨・⑩					●	オ		
378	816	女	1950					なし					●	オ		
379	791	男	1930					なし					●	オ		

ばく露歴と医学的所見に係る集計表（尼崎市）

A表：2008年受診者（S30からS50年居住歴なし）

通しNO	症例番号	性別	生年代 (西暦)	2006年度 所見	2007年度 所見	2008年度X線 所見	2008年度CT	最新の所見	直接曝露 あり	間接曝露 あり	家族曝露 あり	工立入り あり	その他	ばく露歴 分類案	経過観察 終了	備考
380	265	男	1940		なし	不変		なし					●	オ		
381	27	女	1940		⑩	不変		⑩					●	オ		
382	453	女	1950		⑩	不変		⑩					●	オ		
383	18	男	1940		②	不変		②		●			●	イ		
384	496	男	1940		②	不変		②	●					ア		
385	271	男	1940					⑩		●				イ		
386	754	男	1950					②	●					ア		
387	881	男	1940					⑧	●					ア	終了 肺がん	医療の必 要あり

注1: 医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①～⑨及びその他の所見⑩(石綿ばく露に関連しない)を確認する。(重複含む)

- ①胸水貯留が認められる者
- ②胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚)が認められる者
- ③びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤胸膜下曲線陰影が認められる者
- ⑥肺野の間質影が認められる者
- ⑦円形無気肺が認められる者
- ⑧肺野の腫瘍状陰影が認められる者
- ⑨リンパ節の腫大が認められる者
- ⑩その他の所見が認められる者

注2: ばく露歴については、該当するものすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職場以外で石綿採取施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿採取施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇丁目)に居住していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3: ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うもの

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職場以外で石綿採取施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 経過観察・終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注5: 備考欄については、特記事項を記入する

(例1: X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2: 石綿救済制度や労災制度の認定や申請中である旨の記入、等)



B表：昭和30～50年に尼崎市に居住していた者のばく露歴集計表

	ア. 直接職歴あり	イ. 間接職歴あり	ウ. 家庭内ばく露あり	エ. 立入・屋内環境ばく露あり	オ. その他	小計	うち女性
●						29	2
●		●				4	
●			●			1	
●				●		1	
●					●	37	
●		●		●			
●		●			●	1	
●			●	●			
●			●		●	4	3
●			●	●	●	4	
●		●	●	●			
●		●	●	●	●		
●			●	●	●		
●		●	●	●	●		
●		●	●	●	●	16	3
		●	●			2	2
		●		●			
		●			●	49	11
		●	●	●			
		●	●		●	1	
		●		●	●	4	
		●	●	●	●		
			●			6	6
			●	●			
			●		●	17	15
			●	●	●		
				●		3	
				●	●	23	7
					●	177	121
計*	81	77	31	35	317	379	170
うち女性*	5	16	26	7	157		

\* 縦計については重複計上

B-2表：昭和30～50年に尼崎市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表

年齢別	計	うち 女性	ア. 主に 直接職歴	うち 女性	イ. 主に 間接職歴	うち 女性	ウ. 主に 家庭内ばく 露	うち 女性	エ. 主に立 入・屋内環境 ばく露	うち 女性	オ. そ の他	うち 女性
40歳未満	7	3	2						2	1	3	2
40～49歳	18	8	3		1	1			2		12	7
50～59歳	59	30	7		6	2	4	2	9	4	33	22
60～69歳	153	64	38	2	32	6	9	9	8	1	66	46
70～79歳	120	54	25	2	28	5	10	10	5	1	52	36
80～89歳	22	11	6	1	5	2					11	8
90～99歳	0	0										
合計	379	170	81	5	72	16	23	21	26	7	177	121

C表：昭和30～50年に尼崎市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表

(C-1 所見について)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	139	50	35	2	30	4	7	7	9	2	58	35
①胸水貯留あり	1	0			1							
②胸膜プラークあり	103	35	28	2	21	4	4	4	7	2	43	23
③びまん性胸膜肥厚あり	3	0	2		1							
④胸膜腫瘍疑いあり	0	0										
⑤胸膜下曲線様陰影あり	14	6	2		3						9	6
⑥肺野間質影あり	19	3	6		3			2			8	3
⑦円形無気肺あり	3	0	1		2							
⑧肺野の腫瘤状陰影あり	17	5	4		5		3	3			5	2
⑨リンパ節の腫大あり	19	5	7		5		1	1			6	4
⑤または⑥が確認された者の実人数	31	9	7		6			2			16	9

※①～⑨は重複計上含む

(C-2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表)

①胸水貯留

年齢別	計	うち女性	ア. 主に直接 職歴	うち女性	イ. 主に間 接職歴	うち女性	ウ. 主に家 庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ. そ その他	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	0	0										
70～79歳	0	0										
80～89歳	1	0			1							
90～99歳	0	0										
合計	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

※疑いを含む

②胸膜プラーク

年齢別	計	うち女性	ア. 主 に直接 職歴	うち女性	イ. 主 に間接 職歴	うち女性	ウ. 主 に家庭 内ばく 露	うち女性	エ. 主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ. そ その他	うち女性
40歳未満	1	0	1									
40～49歳	3	0							1		2	
50～59歳	11	4	1		2		1	1	5	2	2	1
60～69歳	35	12	11	1	8	2					16	9
70～79歳	44	16	13	1	8	1	3	3	1		19	11
80～89歳	9	3	2		3	1					4	2
90～99歳	0	0										
合計	103	35	28	2	21	4	4	4	7	2	43	23

※疑いを含む

③びまん性胸膜肥厚

年齢別	計	うち女性	ア. 主 に直接 職歴	うち女性	イ. 主 に間接 職歴	うち女性	ウ. 主 に家庭 内ばく 露	うち女性	エ. 主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ. そ その他	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	1	0			1							
60～69歳	1	0	1									
70～79歳	1	0	1									
80～89歳	0	0										
90～99歳	0	0										
合計	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0

※疑いを含む

⑤胸膜下曲線様陰影または⑥肺野間質影

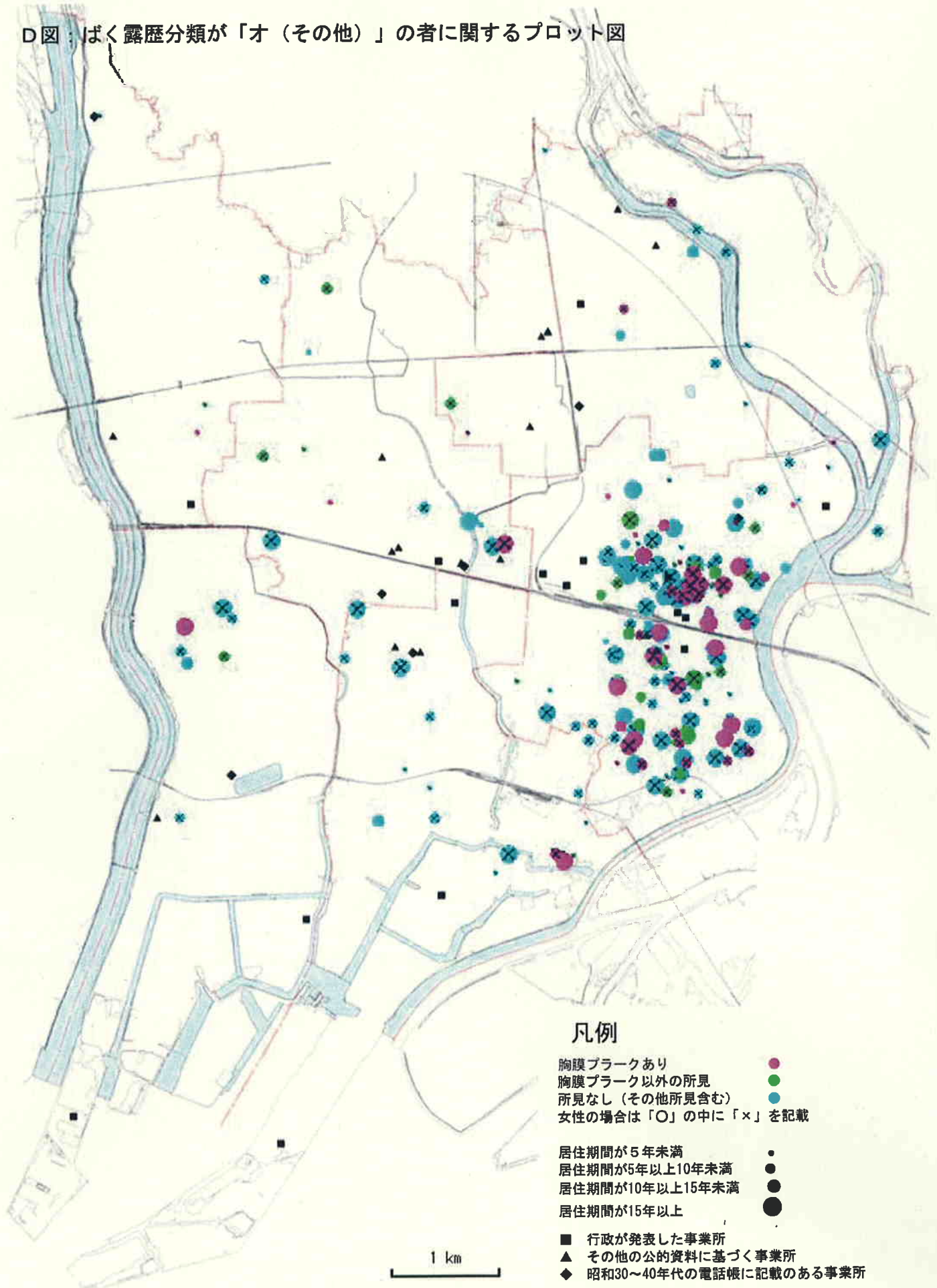
年齢別	計	うち女性	ア. 主 に直接 職歴	うち女性	イ. 主 に間接 職歴	うち女性	ウ. 主 に家庭 内ばく 露	うち女性	エ. 主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ. そ その他	うち女性
40歳未満	0	0										
40～49歳	0	0										
50～59歳	1	0			1							
60～69歳	14	3	5		4			1			4	3
70～79歳	14	6	1		1			1			11	6
80～89歳	2	0	1								1	
90～99歳	0	0										
合計	31	9	7	0	6	0	0	2	0	0	16	9

※疑いを含む

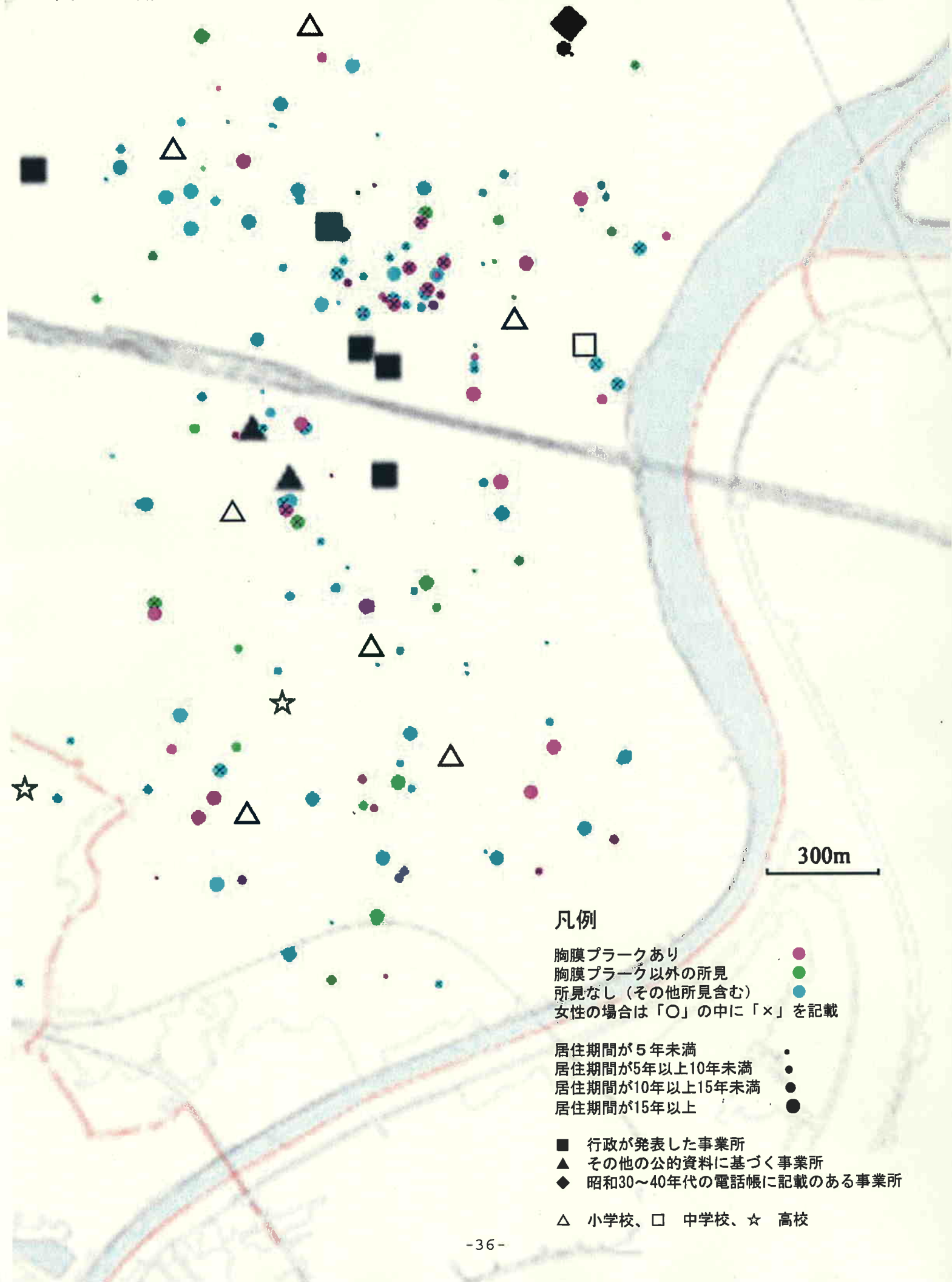
(C-3 調査対象者の状況)

年齢別	計	うち女性	ア. 主 に直接 職歴	うち女性	イ. 主 に間接 職歴	うち女性	ウ. 主 に家庭 内ばく 露	うち女性	エ. 主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ. そ その他	うち女性
経過観察者	376	170	79	5	67	14	23	21	26	7	181	123
調査終了者	3	0	2		1							
合計	379	170	81	5	68	14	23	21	26	7	181	123

D図：ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図



D図：ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図【クローズアップ】



ばく露歴分類が「オ(その他)」の者とプロット数との関係

	プロット対象者数	プロット数
胸膜プラークあり	43	59
他の所見あり	15	34
所見なし	119	171
合 計	177	264

※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。

石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成19年度以前の石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

照会を行った結果、中皮腫0人、肺がん2人、石綿肺1人、良性石綿胸水0人、びまん性胸膜肥厚疑い1人と医療機関で診断されている。

このうち、石綿救済制度で認定された者が2人、労災制度で認定された者が0人であったことが本人や家族への問い合わせにより確認された。

平成19年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
対象者	2	1			1						1	1
石綿関連疾患(疑いを含む)												
a 中皮腫												
b 肺がん												
c 石綿肺												
d 良性石綿胸水												
e びまん性胸膜肥厚												

※( )は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成18年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
対象者	7	3	2		2		2	2			1	1
石綿関連疾患(疑いを含む)	4(1)	1	2		1(1)						1	1
a 中皮腫	0	0										
b 肺がん	2	1	1								1	1
c 石綿肺	1	0	1									
d 良性石綿胸水	0	0										
e びまん性胸膜肥厚	1(1)	0			1(1)							

※( )は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。



受  
付

## 石綿ばく露健康リスク調査問診票

ID番号

※太枠のみ記入してください。(裏面にもあります。)



フリガナ		男 ・ 女	生年月日	明・大・昭・平 年 月 日生 歳
氏名	(旧姓: )			
現住所	〒 -		電話番号	( )

1. この健康リスク調査を受ける理由はなんですか。(○をつけてください。)		追加質問にも記入願 います。
(1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた。		
(2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいた。		
(3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。 (4) その他( )		
2. あなたのこれまでの居住歴について、2枚目「居住歴」欄に記入してください。		
3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票の「①本人の通学歴、②本人の職歴、③家族の職歴」欄に記入してください。		
4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。		
<input type="checkbox"/> ある (その場所とその時の状況 )		
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> わからない		
5. 現在までに、肺の病気にかかったことがありますか。		「ある」にチェックした 場合、保健師が別紙 調査票の追加質問 に記入願います。
<input type="checkbox"/> ある ( ) <input type="checkbox"/> なし		
6. 現在、何か症状がありますか。		
<input type="checkbox"/> ある : 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他( )		
<input type="checkbox"/> なし		
7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。		
<input type="checkbox"/> ある : (続柄 ) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他( )		
<input type="checkbox"/> なし		
8. 喫煙の有無		
<input type="checkbox"/> 現在も吸っている 1日平均 本 年間(通算 本)		
<input type="checkbox"/> 過去に吸っていた 1日平均 本 年間 止めた時期 年前(通算 本)		
<input type="checkbox"/> 普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時: )		
<input type="checkbox"/> 吸ったことがない		
9. これまでの胸部X線 検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期( 年 月ごろ)・医療機関名( ) 結果	
10. これまでの胸部CT 検査受診の有無	1. 無 2. 有: 時期( 年 月ごろ)・医療機関名( ) 結果	
11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば記入してください。		領収印
		問診者

※ 当調査で行なった検査や結果についての診断書は当所では発行できませんのでご了承下さい。

## 居住歴(出生時以降)

		住 所	備 考
(記入例) 昭25	年から 昭31年	○県△市○町××	
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		
	年から 年		

撮影日 年 月 日 直接 No.( )	
一 次 読 影	二 次 読 影
 <input type="checkbox"/> 著変なし <input type="checkbox"/> 経過観察(ヶ月) <input type="checkbox"/> 要精検	 <input type="checkbox"/> 著変なし <input type="checkbox"/> 経過観察(ヶ月) <input type="checkbox"/> 要精検
所見 1 胸水貯留の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 2 胸膜肥厚の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 3 胸膜プラークの有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 4 肺野の間質影の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 5 石灰化の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 6 肺野の腫瘤状陰影の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 7 その他の所見 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし	所見 1 胸水貯留の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 2 胸膜肥厚の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 3 胸膜プラークの有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 4 肺野の間質影の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 5 石灰化の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 6 肺野の腫瘤状陰影の有無 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし 7 その他の所見 <input type="checkbox"/> あり( ) <input type="checkbox"/> なし
読影日 年 月 日 (読影医)	読影日 年 月 日 (読影医)

※太枠のみ記入してください。(裏面にもあります。)

(3/8)

- 全受診者について記入をお願いします。  
 これまでの通学歴、学校を卒業してから現在に至るまでの職業歴、石綿を扱っていたご家族の  
 現在までの職業歴についてご記入願います。  
 (在学中のアルバイト、戦時中の仕事など短期間の仕事もできる限り、記入願います。)

① 本人の通学歴

	通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)		通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)
	(記入例) S25.4-S50.6	〇〇小学校	〇県△市〇町××		4		
1					5		
2					6		
3					7		

② 本人の職歴

従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
					①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
(記入例) S25.4-S50.6	〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた	無し・わからない S30.4-S50.6	11	2	3	1	2	3	1
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							
				無し・わからない							

通算 年 月

③ 家族の職歴 (当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入)

続柄 父・母 兄・姉	従事した 時期(年月 ～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)						
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定
		〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた								

続柄 通算 年 月

続柄 通算 年 月

○ 1に○をつけた場合  
受診者の家庭生活等について記入願います（複数回答可）。

1 □石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。 年～ 年（通算）年）

2 □家族が石綿関連の仕事についており、  
道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。 年～ 年（通算）年）

3 □家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。 年～ 年（通算）年）

4 □石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたこと  
がある。 年～ 年（通算）年）

〔 4の地域：  
（都道府県市町村名） 〕

5 □造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 年～ 年（通算）年）

〔 5の地域：  
（都道府県市町村名） 〕

6 □倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでい  
たことがある。 年～ 年（通算）年）

〔 6の地域：  
（都道府県市町村名） 〕

7 □自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたこと  
がある。 年～ 年（通算）年）

〔 7の地域：  
（都道府県市町村名） 〕

8 □幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。 年～ 年（通算）年）

〔 8の地域：  
（都道府県市町村名） 〕

9 □吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある 年～ 年（通算）年）

年～ 年（通算）年）  
年～ 年（通算）年）  
年～ 年（通算）年）

10 □いずれもない

11 □わからない

## \* 職歴に関するチェック項目

## 【①業種】

## 1 鉱業

- 11  石綿鉱業  
12  その他の鉱業

## 2 建設業

- 21  石綿含有製品を取り扱う作業  
22  石綿含有製品の近傍で行うその他の作業  
23  その他の作業

## 3 製造業

- 30  石綿製品製造業  
31  清酒製造業  
32  化学工業  
33  石油製品・石炭製品製造業  
34 窯業・土石製品製造業  
341  ガラス・同製品製造業  
342  セメント・同製品製造業  
343  建設用粘土製品製造業（陶磁器製を除く）  
344  陶磁器・同関連製品製造業  
35  鉄鋼業  
36  非鉄金属製造業（銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造）  
37  金属製品製造業  
38  一般・輸送用機械器具製造業  
39  造船業  
3a  食料品製造業  
3b  繊維工業  
3c  その他の製造業

## 4 電気・ガス・熱供給・水道業

- 41  配管・配線取扱い業  
42  電気業  
43  ガス供給業  
44  熱供給業  
45  水道業

## 5 運輸業

- 51  鉄道業  
52  道路貨物運送業  
53  水運業  
54  倉庫業  
55  運輸に附帯するサービス業

## 6 医療、福祉

- 61  医療業

## 7 サービス業

- 71  廃棄物処理業  
72  自動車整備業  
73  機械等修理業  
74  その他の事業サービス業

8  解体業9  その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

- a  不明  
b  なし

## 【②仕事内容】

- 1  石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業
- 2  石綿や石綿含有岩綿の吹き付け・貼り付け等作業
- 3  石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業
- 4  配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業
- 5  造船所内の作業（造船所における事務職含めた全職種）
- 6  船に乗り込んで行う作業（船員 その他）
- 7  建築現場の作業（建築現場における事務職を含めた全業種）
- 8  解体作業（建築物、構造物、石綿含有製品等）
- 9  港湾での荷役作業
- 10  発電所・変電所での作業
- 11  鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業
- 12  耐熱（耐火）服や耐火手袋等を使用した作業
- 13  自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業
- 14  自動車・トラック・鉄道等の運行に関わる作業
- 15  ガラス製品製造に関わる作業
- 16  石油精製工場、化学工場内の精製・製造作業や配管修理等の作業
- 17  清掃工場・廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業
- 18  電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業
- 19  レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業
- 20  吹き付け石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業（教員 その他）
- 21  エレベーター製造または保守に関わる作業
- 22  ランドリー・クリーニングに関わる作業
- 23  ガスマスクの製造に関わる作業
- 24  上下水道に関わる作業
- 25  ゴム・タイヤの製造に関わる作業
- 26  道路建設・補修等に関わる作業
- 27  映画放送舞台に関わる作業
- 28  農業
- 29  酒類製造に関わる作業
- 30  消防に関する作業
- 31  歯科技工に関わる作業
- 32  金庫の製造・解体に関わる作業
- 33  その他の石綿に関連する作業（
- 34  タルク等石綿含有物を使用する作業
- 35  いずれもない
- 36  不明（忘れた・覚えていない）

## 【③仕事で取り扱った材料・製品】

- 1 □ 石綿原綿（わた・繊維）                    2 □ 石綿吹き付け材                    3 □ 石綿フェルト  
 4 □ 石綿保温材・煙突材                    5 □ 石綿含有屋根材、スレート                    6 □ 石綿紙  
 7 □ 石綿セメント管・石綿パイプ                    8 □ 石綿含有ボード（外壁材・内装材）  
 9 □ 石綿パッキング・ガスケット                    10 □ 石綿織物・布・ひも・ロープ・テープ・リボンなど  
 11 □ 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤  
 12 □ 石綿含有摩擦材（ブレーキパッドなど）  
 13 □ その他の石綿製品（                    )  
 14 □ いずれもない                    15 □ わからない

## 【④職場のそばでの作業の有無】

- 1 □ 石綿含有製品（チューブ・パイプ・板・ボール紙・断熱材など）を切断、取り付け、取り外したりする  
 2 □ 溶接  
 3 □ 支柱・隔壁・ガード（garder）に耐火塗装をおこなったり、はがしたりする。  
 4 □ その他（                    )  
 5 □ 不明  
 6 □ なし

## 【⑤仕事で頻繁に出入りしていた場所】

- 1 □ 倉庫、車庫                    (                    )  
 2 □ 部材置き場                    (                    )  
 3 □ 配管・配線の現場                    (                    )  
 4 □ 船体                    (                    )  
 5 □ その他（                    )  
 6 □ 不明  
 7 □ なし

## 【⑥職場に吹き付け石綿の部屋の有無】

- 1 □ ある                    2 □ ない                    3 □ 不明

## 【⑦会社で労災認定の有無】（ある場合は認定年月日）

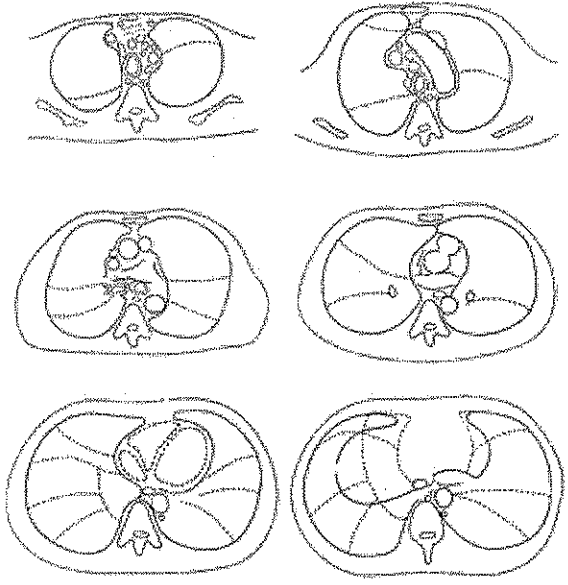
- 1 □ ある（認定年月日）                    2 □ ない                    3 □ 不明  
 (                    )

## ○ 5で「ある」にチェックがした場合

現在までに、かかったことがある肺の病気について、ご記入願います。

- 1 □ 肺結核                    2 □ 結核性胸膜炎                    3 □ 肺がん                    4 □ 慢性気管支炎  
 5 □ じん肺（石綿肺）                    6 □ 間質性肺炎（肺繊維症）                    7 □ 肺気腫  
 8 □ 原因不明の胸膜炎                    9 □ 原因不明の胸水                    10 □ その他の呼吸器の病気（

精密診断 2次読影



総合判定		<input type="checkbox"/> 所見なし <input type="checkbox"/> 所見あり <input type="checkbox"/> 要医療 中皮腫・肺癌・石綿肺・ 良性石綿胸水 <input type="checkbox"/> その他・不明 (                    )																																										
CTならびに胸部Xp.所見	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 35%;">1 胸水貯留</td> <td style="width: 35%;">□有 (                    )</td> <td style="width: 30%;">□無</td> </tr> <tr> <td>2 胸膜プラーク</td> <td>□有 (                    石灰化   □有・□無)</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>3 びまん性胸膜肥厚</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>4 胸膜腫瘍(疑)</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>5 a 胸膜直下曲線状陰影(疑合)</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>5 b 胸膜直下間質影の増強</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>6 肺野間質影</td> <td>□有 (                    )</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>7 円形無気肺</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>8 肺野の腫瘤影</td> <td>□有 (                    )</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>9 リンパ節の腫大</td> <td>□有 (No.                    )</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>10 細気管支・気管支拡張所見</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>11 結核性病巣</td> <td>□有 (a: 陳旧性、b: 活動性)</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>12 肺野GGO</td> <td>□有</td> <td>□無</td> </tr> <tr> <td>13 その他の所見</td> <td>□有 (                    )</td> <td>□無</td> </tr> </table>		1 胸水貯留	□有 (                    )	□無	2 胸膜プラーク	□有 (                    石灰化   □有・□無)	□無	3 びまん性胸膜肥厚	□有	□無	4 胸膜腫瘍(疑)	□有	□無	5 a 胸膜直下曲線状陰影(疑合)	□有	□無	5 b 胸膜直下間質影の増強	□有	□無	6 肺野間質影	□有 (                    )	□無	7 円形無気肺	□有	□無	8 肺野の腫瘤影	□有 (                    )	□無	9 リンパ節の腫大	□有 (No.                    )	□無	10 細気管支・気管支拡張所見	□有	□無	11 結核性病巣	□有 (a: 陳旧性、b: 活動性)	□無	12 肺野GGO	□有	□無	13 その他の所見	□有 (                    )	□無
1 胸水貯留	□有 (                    )	□無																																										
2 胸膜プラーク	□有 (                    石灰化   □有・□無)	□無																																										
3 びまん性胸膜肥厚	□有	□無																																										
4 胸膜腫瘍(疑)	□有	□無																																										
5 a 胸膜直下曲線状陰影(疑合)	□有	□無																																										
5 b 胸膜直下間質影の増強	□有	□無																																										
6 肺野間質影	□有 (                    )	□無																																										
7 円形無気肺	□有	□無																																										
8 肺野の腫瘤影	□有 (                    )	□無																																										
9 リンパ節の腫大	□有 (No.                    )	□無																																										
10 細気管支・気管支拡張所見	□有	□無																																										
11 結核性病巣	□有 (a: 陳旧性、b: 活動性)	□無																																										
12 肺野GGO	□有	□無																																										
13 その他の所見	□有 (                    )	□無																																										
平成    年    月    日		読影医    _____																																										



受付  
印

※太枠のみ記入してください。

氏名	(旧姓)	ID番号
<b>その後の経過</b>		
1. 前回の本健康リスク調査受診以後現在まで、何か気になること、又は新しい症状などありますか。 <input type="checkbox"/> ある (その内容は何か。)( ) <input type="checkbox"/> なし		
2. 家族で新たに石綿関連疾患(中皮腫、肺がんなど)を発病した人はいますか。 <input type="checkbox"/> ある (その病名は何か。いつ頃ですか。)( ) <input type="checkbox"/> なし		
特記事項 (CT検査、通院、疾病の有無等をご記入願います。)		
		領収印
		問診者

撮影日	年	月	日	直接 No.(	)
<b>一次読影</b>			<b>二次読影</b>		
 <input type="checkbox"/> 著変なし <input type="checkbox"/> 経過観察( 月) <input type="checkbox"/> 要精検			 <input type="checkbox"/> 著変なし <input type="checkbox"/> 経過観察( 月) <input type="checkbox"/> 要精検		
所見			所見		
1 胸水貯留の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	1 胸水貯留の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
2 胸膜肥厚の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	2 胸膜肥厚の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
3 胸膜プラークの有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	3 胸膜プラークの有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
4 肺野の間質影の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	4 肺野の間質影の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
5 石灰化の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	5 石灰化の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
6 肺野の腫瘤状陰影の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	6 肺野の腫瘤状陰影の有無	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
7 その他の所見	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし	7 その他の所見	<input type="checkbox"/> あり( )	<input type="checkbox"/> なし
読影日	年	月	日	(読影医)	
読影日	年	月	日	(読影医)	

～ みなさまへ ～

尼崎市保健所では石綿による健康影響に不安のある市民を対象に健診を実施しており、「アスベスト」による健康リスク評価に関する調査を受けられた方にこの記録帳をお渡ししています。石綿の健診を受けられた時は、裏面に年月日と検診機関名を記入して、受診の自己管理をしましょう。

注意事項

- ① この調査への参加は本人の自由意思によるものです。
- ② レントゲンやCT検査による放射線被曝のリスクがあります。
- ③ 現在のところ、中皮腫などの石綿関連疾患について、必ずしも早期発見できるという知見はありません。
- ④ この調査への参加に同意した場合でも、随時これを撤回できます。
- ⑤ 症状が現れた場合、速やかに医療機関を受診してください。
- ⑥ この調査の終了により、健診・検査の補助も終了となります。

相談及びお問い合わせ先  
 尼崎市保健所 健康増進課  
 〒660-0052 兵庫県尼崎市七松町1丁目3番1-502号  
 電話 06-4869-3053

石綿診断記録帳

～定期的に、健診を受けましょう～

尼崎市保健所

ふりがな	性	男	女
氏名	別		
生年月日	年	月	日
住所	大正和昭		
住所(変更時)	千		

職歴	事業場の名称	所在地	従事した業務
自年月日			
至年月日			
自年月日			
至年月日			
自年月日			
至年月日			
自年月日			
至年月日			
自年月日			
至年月日			
自年月日			
至年月日			

受診年月日	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
自覚症状	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
検査	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )
結果			
備考			
受診機関名			

受診年月日	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
自覚症状	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
検査	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )
結果			
備考			
受診機関名			

受診年月日	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
自覚症状	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
検査	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )
結果			
備考			
受診機関名			

受診年月日	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
自覚症状	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )	無し・せき たん・息切れ 胸痛・他( )
検査	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )	レントゲン・CT・ 他( )
結果			
備考			
受診機関名			

## アスベストばく露による健康リスク評価に関する調査分


## 紹介状

主治医 様

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび当保健所で実施しました「石綿健康診断」で下記の所見が認められましたので、よろしくご高診ください。なお、ご面倒ですが検査の結果が判明次第、下の結果報告書欄にご記入のうえ、CTのコピーと一緒にご返送ください。

※腫瘍マーカー・造影CTは、費用補助の対象ですが実施前に御連絡ください。末梢血や生化学などは本人負担となりますので、必要な時はよく患者に費用などについて説明して下さい。

所見		異常なし・所見あり
フィルム No. _____	読影医 _____	

保健所受診日 年 月 日

受診者氏名

様 T・S 年 月 日生 男・女

〒660-0052 尼崎市七松町 1-3-1-502 フェスタ立花南館 5F

尼崎市保健所 健康増進課 TEL (06)4869-3053 FAX (06)4869-3049

## 結果報告書

検査実施日 平成 年 月 日

次回検査	1 保健所で健診 2 病院で経過観察 3 その他 ( )
検査内容	1 CT 2 直接撮影 (正面・側面・斜位) 3 その他 ( )
CT 所見	1 異常なし 2 経過観察 3 要医療 1 胸水貯留 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 2 胸膜プラーク <input type="checkbox"/> 有 ( ) 石灰化 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無 3 びまん性胸膜肥厚 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 4 胸膜腫瘍 (疑) <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 5 胸膜下曲線様陰影など (疑) <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 6 肺野間質影 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 7 円形性無気肺 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 8 肺野の腫瘤状陰影 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 9 リンパ節の腫大 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無 10 その他の所見 <input type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無
胸部 X-p 所見	
他検査所見	1 broncho (BAL) 2 胸膜生検 3 胸水穿刺 4 VATS
貴医療機関名・住所	
貴医師名	

## アスベストばく露による健康リスク評価に関する調査(受診券)

平成20年度診療報酬準拠版

		異常なし・所見あり	
受診者氏名	大正 昭和 年 月 日 (男・女)	発行年月日	平成 年 月 日
		発行番号	
住所	尼崎市	有効期限	平成21年3月末まで
下記の医療範囲の自己負担分は公費補助いたしますので精査をお願いします。 指定医療機関 様 尼崎市長 白井 文 印			
診察・検査内容			
I. 基本共通事項		チェック	単価 (円) 小計
A000	初診料	<input type="checkbox"/>	2,700 = _____
注7	電子化加算がある場合	<input type="checkbox"/>	2,730 = _____
A002	外来診療料	<input type="checkbox"/>	700 × _____回 = _____
E002	単純撮影料	<input type="checkbox"/>	650 × _____回 = _____
E001	(上記に係る写真診断)	<input type="checkbox"/>	850 = _____
4号	(デジタル映像化処理加算)	<input type="checkbox"/>	150 = _____
5号	(デジタル管理保存加算)	<input type="checkbox"/>	600 = _____
通則4	画像診断管理加算 1	<input type="checkbox"/>	700 = _____
E200	胸部CT画像撮影料	<input type="checkbox"/>	8,500 = _____
注3	造影剤使用	<input type="checkbox"/>	5,000 = _____
E203	(上記に係る写真診断)	<input type="checkbox"/>	4,500 = _____
通則4	画像診断管理加算 1	<input type="checkbox"/>	700 = _____
通則5	画像診断管理加算 2	<input type="checkbox"/>	1,800 = _____
E400	フィルム代(半切)	<input type="checkbox"/>	292 × _____枚 = _____
	フィルム代(大角)	<input type="checkbox"/>	241 × _____枚 = _____
	フィルム代(大四切)	<input type="checkbox"/>	224 × _____枚 = _____
	フィルム代(他)	<input type="checkbox"/>	_____ × _____枚 = _____
B009	診療情報提供料(I)	<input type="checkbox"/>	2,500 = _____
II. 中皮腫及び石綿による肺がんが疑われた場合の事項			
D009	腫瘍マーカー ( 項目)	<input type="checkbox"/>	_____ = _____
D400-1	血液採取(静脈)	<input type="checkbox"/>	110 = _____
D026-4	生化学的検査(II)判断料	<input type="checkbox"/>	1440 = _____
注3イ	検体検査管理加算(I)	<input type="checkbox"/>	400 = _____
N000	病理組織標本作成	<input type="checkbox"/>	8,800 = _____
N002	免疫染色病理組織標本	<input type="checkbox"/>	3,500 = _____
N006	病理診断料	<input type="checkbox"/>	4,100 = _____
N007	病理判断料	<input type="checkbox"/>	1,460 = _____
III. 薬剤など			
	局麻・造影剤など	<input type="checkbox"/>	_____ = _____
自己負担額小計	1. 異常なしの方( _____ %) [消費税込]		円
	2. 所見ありの方(10・20・30・%)		
IV. その他			
	フィルムコピー料(実費)	<input type="checkbox"/>	_____ × _____枚 = _____
自己負担総額 (請求金額)	1. 異常なしの方 [消費税込]		円
	2. 所見ありの方		
尼崎市長 〆 精密診断に要した診療報酬点数及び請求額は、上記のとおりです。 平成 年 月 日 所在地 名称 代表者			

## 指定医療機関名簿

医療機関名	郵便番号	住所
県立尼崎病院	660-0828	尼崎市東大物町1丁目1番1号
県立塚口病院	661-0012	尼崎市南塚口町6丁目8番17号
関西労災病院	660-8511	尼崎市稲葉荘3丁目1番1号
兵庫医科大学病院	663-8501	西宮市武庫川町1番1号

## 平成20年度 尼崎市アスベスト対策専門委員会 名簿

職 名	氏 名
兵庫県立尼崎病院呼吸器外科部長	糸 井 和 美
兵庫県立尼崎病院呼吸器科部長	遠 藤 和 夫
神戸労災病院副院長	大 西 一 男
神戸大学准教授	大 野 良 治
関西労災病院内科副部長	後 藤 浩 之
兵庫医科大学教授	○ 島 正 之
兵庫医科大学教授	◎ 中 野 孝 司
兵庫県立尼崎病院検査放射線部長 兼呼吸器科部長	平 林 正 孝

◎は会長 ○は副会長

## アドバイザー

東洋大学経済学部教授	神 山 宣 彦
------------	---------

## 平成20年度 尼崎市アスベスト対策専門委員会 読影部会 名簿

職 名	氏 名
兵庫県立尼崎病院呼吸器外科部長	糸 井 和 美
兵庫県立尼崎病院呼吸器科部長	遠 藤 和 夫
神戸労災病院副院長	大 西 一 男
関西労災病院内科副部長	後 藤 浩 之
兵庫医科大学教授	中 野 孝 司
兵庫県立尼崎病院検査放射線部長 兼呼吸器科部長	平 林 正 孝